令和８年７月１日 ※1
（前回公表年月日：令和７年７月１日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
北日本医療福祉専門学校	平成 16 年 12 月 22 日	菊池　浩	〒020 - 0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通２丁目５番 15 （電話）　019 - 621 - 2106
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人北日本カレッジ	昭和 35 年 1 月 28 日	奈良 憲光	〒020 - 0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通２丁目５番 15 （電話）　019 - 606 - 0081

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	社会福祉専門課程	こどもマイスター養成科	令和２年２月29日文部科学省認定	－

学科の目的	・本学科は、職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、一般教養の向上と人格の陶冶を図り、専門知識と技能を有した優秀な人材の育成を目的とする。
認定年月日	令和３年３月25日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	８年度入学 110 単位	46 単位	51 単位	13 単位	―	―
		７年度入学 2,145 時間	765 時間	885 時間	390 時間	―	105 時間
		８年度 110 単位、７年度入学 2,145 時間					

生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80　人	37　人	0　人	6　人	23　人	29　人

学期制度	■前期：　４月１日～9月30日 ■後期：１０月１日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 ・学則第９条に基づき、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。
長期休み	■学年始：４月１日～4月５日 ■夏　季：７月20日～8月18日 ■冬　季：12月24日～1月15日 ■学年末：３月20日～3月31日	卒業・進級条件	・授業科目の成績評価に基づいて認定を行う。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 ・学生との面談及び家庭への連絡	課外活動	■課外活動の種類 ・総合運動会、学園祭、交流会、球技大会 ■サークル活動：　無
就職等の状況 ※2	■主な就職先、業界等　（令和７年度卒業生） ・保育園、幼稚園　他 ■就職指導内容 ・キャリア支援室を設置し、就職指導担当者が在駐している。また、学校には就職担当教員を置き、キャリア支援室と連携をとりながら就職指導を行っている。 ■卒業者数　：　34　人 ■就職希望者数　：　32　人 ■就職者数　：　32　人 ■就職率　：　100　％ ■卒業者に占める就職者の割合　：　94.1　％ ■その他 卒業生延べ 177 名（2019 年度卒より） （令和７年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）	主な学習成果（資格検定等） ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和７年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
保育士	①	34	34
幼稚園教諭Ⅱ種	①	22	22
社会福祉主事任用資格	①	22	22
幼児体育指導者	③	19	19

※ 種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
① 国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
② 国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③ その他（民間検定等）
■自由記述欄

中途退学の現状	■中途退学者　4　名　■中退率　7.0　％ 令和　７年4月　1日時点において、　在学者　57　名（　令和 7 年 4 月 11 日　入学者を含む） 令和　８年3月31日時点において、　在学者　53　名（　令和 8 年 3 月　6 日　卒業者を含む） ■中途退学の主な理由

	・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・学生との個別面談、保護者との面談等
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待入試制度 ・親族優遇制度 ・通学サポート制度 ・東日本大震災被災者支援制度 ・学び直しサポート制度 ■専門実践教育訓練給付：給付対象（令和 ７年度実績 １名）
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無
当該学科のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞURL	https://www.kitakita.ac.jp/iryo/

（留意事項）

１．公表年月日（※１）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後１か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度７月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

２．就職等の状況（※２）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（２５文科生第５９６号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（１）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が１年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（２）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（３）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

３．主な学修成果（※３）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

１．「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（１）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

・実践的かつ専門的な職業教育が主体的に実施できるよう（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）教育課程編成委員会と連携し、専門家の意見を取り入れることにより自立した人材を育成できるような教育課程を編成する。

（２）教育課程編成委員会等の位置付け

・保育分野に関する企業等との連携体制を確保して、実践的かつ専門的な職業教育が主体的に実施できるよう教育課程を編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）し、教育課程編成委員会における審議結果が教育課程に反映されることを目的とし、本校に教育課程編成委員会を設置する。

（３）教育課程編成委員会等の全委員の名簿　　令和８年５月１日現在

名　前	所　　属	任　　期	種別
佐々木　幸子	岩手県社会福祉協議会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	①
松　永　　繁	岩手県立大学	令和７年４月１日～令和９年３月31日	②
西　尾　卓樹	社会福祉法人玉山秀峰会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	③
熊　谷　良平	社会福祉法人永友会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	③
長　根　　崇	株式会社薬王堂	令和７年４月１日～令和９年３月31日	③
畑　澤　昌美	岩手県薬剤師会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	①
前　東　憲子	盛岡南病院	令和７年４月１日～令和９年３月31日	③
照　井　将太	岩手県保育協議会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	①
高　橋　貴彦	有限会社ＴＫプランニングス	令和７年４月１日～令和９年３月31日	③
細　越　康子	社会福祉法人久昌寺会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	③
菊　池　　浩	北日本医療福祉専門学校	令和７年４月１日～令和９年３月31日	－
渡　辺　公治	北日本医療福祉専門学校	令和７年４月１日～令和９年３月31日	－
菊　池　朋恵	北日本医療福祉専門学校	令和８年４月１日～令和９年３月31日	－

※ 委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（１企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（４）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年２回（９月、２月）

（開催日時）

令和７年度第１回　　令和７年９月　５日　15：00～17：00

令和７年度第２回　　令和８年２月20日　15：00～17：00

（５）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見：提出物の期限を守るなど社会人としてのマナーについては、ガイドブック等を活かし指導していただきたい。

活用：提出期限を守る意識を持たせ、学習の計画や見通しをもって授業や実習に臨むことができるよう、学生に促していきます。また、社会人としてのマナーについて、ガイドブックの活用をより深めてまいります。

意見：認定こども園が増えているため、積極的に幼稚園免許取得を促して欲しい。

活用：オープンキャンパスやオリエンテーション等で、幼稚園免許の必要性について伝え免許取得の流れ等についても周知してまいります。

２．「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

・校内では習得できない保育者としての実務を、第一線で活躍する保育者に依頼し、仕事に対する職業意識と使命感を養わせる。また、企業側には学生の価値観や業界に関する認識等を理解し、相互理解を深めることを基本方針とする。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

・業界に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、企業等の指導者と事前に実習及び演習内容を検討する。また、実習及び演習終了後に指導者及び教員からの学修成果を評価する。

（３）具体的な連携の例※科目数については代表的な５科目について記載

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
保育実習Ⅰ	子どもとのかかわり、保育・保護者への支援について	日向保育所、おもとこども園、ふじなでしここども園、なでしこ保育園、高松保育園　他
保育実習Ⅱ	福祉施設の役割や機能の理解を深める	みらいずジュニア大曲、Grip キッズ盛岡本宮校、CREDO 本宮店、COCO.R たんぽぽ、放課後等デイサービス　ポケット　他
保育実習Ⅲ	職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する	なでしここども園、善友保育園、こずかたこども園、アイリス保育園、モリオカえほんの森保育園　他
教育実習	幼稚園の役割と保育者の役割について理解する	スコーレ幼稚園、白百合学園幼稚園、都南幼稚園、めぐみ幼稚園、赤石幼稚園　他

３．「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

・保育士が活躍する業界の最新の技術や知識を習得するための研修や、学生指導スキルを向上させるための研修に参加させることにより、教育研修規程に基づいた実践的かつ専門的な技術・技能の向上を図る。また、教職員による自己評価や学生による授業評価を実施し、その評価をもとに必要とされる研修への参加及び校内研修を計画的に実施する。

（２）研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・令和７年度全国保育士養成セミナー全国大会　　令和７年８月27・28日

対象：保育士養成施設教員

内容：未来ある保育者養成へアップデート

② 指導力の修得・向上のための研修等

・本校教員研修会　「学習指導のあり方を考える」　　令和８年3月 16 日

対象：本校教員

内容：「“先生だって悩んでいい”リアルな悩みＱ&A」

（３）研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

・令和８年度全国保育士養成協議会東北ブロックセミナー秋田大会　　令和８年９月12・13日

対象：保育士養成施設教員

内容：「学びの連続性」を保障する保育者養成のあり方

② 指導力の修得・向上のための研修等

・北日本カレッジ校内教員研修会　　令和９年３月

対象：教員

内容：法人主催（内容未定）

４．「学校教育法施行規則第１８９条において準用する同規則第６７条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（１）学校関係者評価の基本方針

・学校が行った自己評価の結果について評価することを基本として評価し、校長に提言する。また、その提言をもとに教育活動及び学校運営に活用することを基本方針とする。

・学校関係者評価委員は、保育の専門分野における業界関係者（就職先企業、実習先、業界団体等）、卒業生、保護者、各校と接続がある学校関係者（高等学校等）の中から３名以上選任し組織する。

（２）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（１）教育理念・目標	（１）教育理念
（２）学校運営	（２）学校運営
（３）教育活動	（３）教育活動
（４）学修成果	（４）学修成果
（５）学生支援	（５）学生支援
（６）教育環境	（６）教育環境
（７）学生の受入れ募集	（７）学生の募集と受け入れ
（８）財務	（８）財務
（９）法令等の遵守	（９）法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	（10）社会貢献

（3）学校関係者評価結果の活用状況

1　教育理念

評価：教育理念、目的、育成人材像等について、今後も継続して周知徹底していただきたい。

活用：今後も継続し、更なる周知が図れるように取り組んでまいります。

2　学校運営

評価：校務分掌の見直しを今後も適宜行い、より良い学校運営をお願いしたい。

活用：今後も適宜校務分掌の見直しを行い、より良い学校運営に努めてまいります。

3　教育活動

評価：授業評価は今後も継続して実施していただきたい。

活用：今後も継続して行い、評価が低い部分は改善を図るよう努めてまいります。

評価：何年か期間が空いて実習生を受け入れる際、実習先と実習担当が事前に打ち合わせをする機会を設けていただきたい。

活用：今後は実習施設に伺い事前に実習指導についての説明を行ってまいります。

4　学修成果

評価：企業アンケートの設問をもっと企業が求めるニーズ、学校側が指導すべき点を明確にするツールとなるよう工夫していただきたい。

活用：次年度より設問内容を変更し、企業と学校の連携ツールとなるよう努めてまいります。

評価：社会人としてのマナーを学ぶ機会を設けていただきたい。

活用：マナー講座を開催し、社会人としてのマナーを身に付けられるよう努めてまいります。

5　学生支援

評価：今後も卒業後も相談できる環境を整え、卒業生のアフターフォローをしていただきたい。

活用：卒業生へのフォローアップも行えるように体制を整えてまいります。

6　教育環境

評価：今後も学生が安心して学校生活を送れるように教育環境を整えていただきたい。

活用：今後も学生が安心して過ごせる、より良い教育環境を維持していきます。

7　学生の募集と受け入れ

評価：私立学校にも積極的に高校訪問していただきたい。

活用：今後も積極的に高校訪問 を行い、学生募集に努めてまいります。

評価：介護福祉士のイメージを変えられるよう、学生募集の際に介護福祉士の魅力を高校生に伝えていただきたい。

活用：学生、保護者に介護福祉士の魅力を伝えられるように努めてまいります。

8　財務

評価：今後も適正な財務状況となるように、学生募集・経費削減に努めていただきたい。

活用：今後も学生募集を強化し、経費削減に努めてまいります。

9　法令等の遵守

評価：法令は遵守されている。今後も自己評価や自己点検を継続していただきたい。

活用：法令等の遵守、自己評価・点検を今後も継続していきたいと思います。

10　社会貢献

評価：ボランティアの依頼があった際には、積極的に参加するよう促していただきたい。

活用：今後もボランティアを通じた社会貢献・地域貢献を検討してまいります。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿　　令和８年５月１日現在

名　前	所　　属	任　　期	種別
朽木　克志	社会福祉法人千晶会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	業界関係者
内村　一彦	合同会社オンリーライフ	令和７年４月１日～令和９年３月31日	業界関係者
古川　栄美子	社会福祉法人松実会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	業界関係者
天木　桂子	元岩手大学教授	令和８年４月１日～令和９年３月31日	有識者
橋場　彰彦	特定非営利法人明成会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	卒業生
村井　将希	株式会社村源	令和７年４月１日～令和９年３月31日	業界関係者
大橋　正和	キリン薬局	令和７年４月１日～令和９年３月31日	業界関係者
金澤　広利	岩手県産業教育振興会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	地方公共団体関係者
打田　公平	社会福祉法人睦会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	業界関係者
高橋　学	盛岡市保育所協議会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	地方公共団体関係者
佐々木　里美	保育協議会	令和７年４月１日～令和９年３月31日	地方公共団体関係者

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法：ホームページ　　URL: https://www.kitakita.ac.jp/iryo/

公表時期：毎年度７月１日

5．「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づき、学校評価の結果も含め、本校の教育

活動の状況や課題など、学校全体に関する情報をわかり易く示し、企業等の学校関係者との相互理解と信頼関係を促進するとともに、連携・協力による教育活動改善につなげていくことを基本方針とする。

（２）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（１）学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育目標、事業計画、学校案内、募集要項
（２）各学科等の教育	学校案内
（３）教職員	教職員一覧
（４）キャリア教育・実践的職業教育	資格取得状況、職業実績
（５）様々な教育活動・教育環境	就職支援
（６）学生の生活支援	本校独自の奨学金制度、特待制度、学生支援機構奨学金制度
（７）学生納付金・修学支援	本校独自の奨学金制度、入学金免除制度
（８）学校の財務	財務目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、資金収支計算書
（９）学校評価	自己評価、自己点検、授業評価、学校関係者評価

（３）情報提供方法

公表方法：ホームページ　　URL: https://www.kitakita.ac.jp/iryo/

公表時期：毎年度７月１日

授業科目等の概要

（社会福祉専門課程　こどもマイスター養成科）令和８年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ｽﾎﾟｰﾂ（実技）	運動やスポーツを自ら実践することができる能力を身に付ける	1通	30	2		○		○	○	○		
○			英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	文章を和訳し理解することができる	1通	30	2	○			○			○	
○			国語	幼児教育における言語指導にかかわる基本的な資質を養う	2通	30	2	○			○			○	
○			憲法	憲法に関する基本的な知識を学修すること	1通	30	2	○			○			○	
○			健康科学	幼児から高齢者までの健康づくりの指導ができる	1通	15	1	○			○		○		
○			情報ﾘﾃﾗｼｰと処理技術	情報システムの発展と役割について理解を深め技術を身に付ける	1通	30	2		○		○			○	
○			保育原理	保育全般について	1通	30	2	○			○			○	
○			教育原理	どのように教育及び学校が営まれ、変遷してきたかを理解する	1通	30	2	○			○		○		
○			こども家庭福祉	領域に関する基本的な知識・技能等について	1通	30	2	○			○		○		
○			社会福祉論	社会福祉の動向、制度や関係機関の実施体系等について	1通	30	2	○			○			○	
○			社会的養護Ⅰ	領域に関する基本的な知識・技能等について	1通	30	2	○			○			○	
○			保育者論	保育者の専門性を考え保育者の役割、倫理を基に考える	2通	30	2	○			○		○		
○			こども家庭支援論	家庭を取り巻く社会状況を把握し、問題の所在や解決法について	1通	30	2	○			○		○		
○			教職論	教職者に求められる資質能力や教職の在り方	1通	30	2	○			○			○	
○			保育の心理学	発達心理学の定義及び生涯にわたる発達についての概要	1通	30	2	○			○			○	
○			こども家庭支援の心理学	生涯発達の観点から発達のプロセスや初期発達の重要性について	1通	30	2	○			○		○		
○			こどもの保健	小児保健の意義・子どもの心身の健康増進を図る保健活動について	2通	30	2	○			○			○	
○			こどもの理解と援助	発達の特徴や基礎的な学習理論、防衛制御、教育場面における評価	1通	30	2		○		○		○	○	
○			こどもの食と栄養	栄養に関する基本理念と栄養素の役割・働きについて	2通	30	2	○			○			○	
○			言葉とこどもの文化	児童文化財がこどものことばの習得にどのように役立つか	1通	15	1	○			○		○		

○			特別支援教育	特別支援教育に関する制度の理念や仕組み	2通	15	1	○			○		○		
○			保育の計画と評価	指針等の改定内容を理解し、指導計画を考え作成することができる	1通	30	2	○			○		○		
○			保育内容の理解と方法	こどもが主体的に取り組める援助方法を習得する	1通 2通	60	4		○		○		○	○	
○			保育内容総論	「保育」の全体的構造について	1通	15	1	○			○		○		
○			保育内容演習	子どもの遊びを通して体験していること、配慮すべき事項について	1通	75	5		○		○	○	○		
○			乳幼児保育Ⅰ	乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について	1通	30	2		○		○		○		
○			乳幼児保育Ⅱ	乳幼児期の具体的な援助方法や保護者支援について	2通	15	1		○		○		○		
○			障害児保育	多様な障害に対応できる知識と援助の方法、家庭との連携について	1通	30	2		○		○			○	
○			社会的養護Ⅱ	療育支援していくための方法・子どもの権利擁護について	2通	15	1	○			○			○	
○			子育て支援	保護者が主体的に子育てに取り組めるような支援のあり方	2通	15	1		○		○		○		
○			こどもの健康と安全	危機管理や災害時・個別的配慮を有するこどもへのかかわり方	2通	15	1		○		○			○	
○			ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	保育現場、社会人として必要なマナーを学ぶ	2通	45	3	○	○		○			○	
○			こどもﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ	分野ごとの基本的な技術を身に着ける	1通 2通	60	4		○		○		○		
○			保育方法の探求	実習の振り返りから課題を見つめ、保育学を探求する	1通	30	2	○			○		○		
○			ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	レクリエーションの知識と技術について	2通	30	2		○		○		○		
○			地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	ボランティアの本質、活動の意義を理解、地域への貢献について	2通	15	1		○		○		○		
○			課題研究	保育に関する課題の解決を図る学習	1通 2通	60	4		○		○		○		
○			音楽表現論	音楽活動の指導に必要な基礎的知識	1通	30	2	○			○		○		
○			音楽実技	音楽表現活動を援助するために必要な基礎知識について	1通 2通	75	5		○		○		○		
○			こどもと体育	安全に楽しく運動遊びを展開するための指導法と援助について	2通	30	2		○		○		○		
○			こどもと造形	形や色や質感等の基礎的な知識及び技能について	1通	15	1		○		○		○		
	○		教育方法論	教育方法の定義と意義、守備範囲の概念について基本的知識について	1通	30	2	○			○			○	

	○		教育課程論	教育課程・保育課程の編成と指導計画の作成、意義や方法について	1通	30	2	○			○			○	
	○		造形表現論	えがく表現、つくる表現、造形あそびの領域と技法について	1通	15	1	○			○		○		
	○		指導法	子どもの遊びとその指導法について	1通 2通	150	10		○		○			○	
	○		人間関係論	人間関係の成立と展開に関する発達心理学的基盤について	1通	15	1	○			○		○		
	○		健康論	乳幼児期の多様な動きの獲得の意義と重要性について	2通	15	1	○			○		○		
	○		環境論	環境を通して行う保育の意味と発達の関係性について	2通	15	1	○			○		○		
	○		こどもの理解と相談支援	発達と成長の基礎理論、カウンセリングの基本的態度や技法について	2通	30	2	○			○		○		
○			保育実践演習	施設の一日の流れを理解し、子どもの観察と対応できる力を養う	2通	30	2		○		○		○		
○			保育実習Ⅰ	子どもとのかかわり、保育・保護者への支援について	1通	150	10			○			○	○	○
○			保育実習Ⅱ	福祉施設の役割や機能の理解を深める	1通	60	4			○			○	○	○
○			保育実習Ⅲ	職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する	2通	60	4			○			○	○	○
○			教育実習	幼稚園の役割と保育者の役割について理解する	2通	120	8			○			○	○	○
○			保育実習指導Ⅰ	実習の目的・意義を理解し、保育実習課程の理解のもと記録できる	1通	30	2		○				○		
○			保育実習指導Ⅱ	育所運営に携わる事により、保育所のあり方を考えることができる	1通	30	2		○				○		
○			保育実習指導Ⅲ	今までの実習を活かし、自己課題の設定や学びを深める	2通	30	2		○				○		
○			教育実習指導	幼稚園ならではの自己課題の設定や学びを深める	2通	15	1		○				○		
○			教育実習事前・事後指導	幼児の特性や発達過程・幼児理解や観察の視点・方法、指導案作成	2通	15	1	○						○	
○			教職実践演習（幼・小）	「組織人としての教師」の在り方について	2通	30	2	○					○	○	
合計				60　科目	1年110単位、2年2,145時間										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・本校教育課程において１１０単位以上を取得し、校長が教育課程を修了したと認めた者。	１学年の学期区分	２　期
	１学期の授業期間	21　週

■図書室の蔵書数　1,714 冊